

# 積水化学グループの環境経営と、 環境貢献製品による公園施設の 長寿命化・LCC低減の取り組み

積水化学工業株式会社  
CSR推進部 環境経営グループ 能勢泰祐  
環境・ライフラインカンパニー 石島勇治  
公共インフラ事業部

## 一. はじめに

積水化学グループは、際立つ技術と品質により、「住・社会のインフラ創造」と「ケミカルソリューション」のフロンティアを開拓し続け、人々のくらしと地球環境の向上に貢献していくことを目指している。本稿では、当社の環境への取り組みを紹介するとともに、当社の高耐食性製品である軽量耐食構造材「エスロンネオランバーFFU」および人工木材「アシエラウッド」等を活用した自然公園施設における長寿命化（LCC低

減）の取り組みについて紹介したい。

## 二. 環境経営長期ビジョン

当社は、事業活動が自然資本（自然の恵み）に依存し、数多くの恵みを受け、また生態系への負荷を与えていることを認識し、二〇一三年度に「SEKISUI環境サステナブルビジョン2030」を策定、目指す姿を「生物多様性が保全された地球」とした（図1）。本ビジョンは、社員一人ひとりが「自然資本」を利用して事業活動を行っていることを認識し、高い環境活動推進力を身につけること



図1 SEKISUI環境サステナブルビジョン2030

で次の「三つの環境への取り組み」を推進し、自然資本へのリターンに貢献することとしている。

## 三. 三つの環境への取り組み

①環境貢献製品の市場拡大と創出  
環境貢献製品（図2）とは、高いレベルの環境貢献効果を有し、かつお客様の使用段階において、その効果を発揮することが認められた製品であり、社内認定制度により登録している。当社の環境貢献製品の売上高比率は二〇一四年度

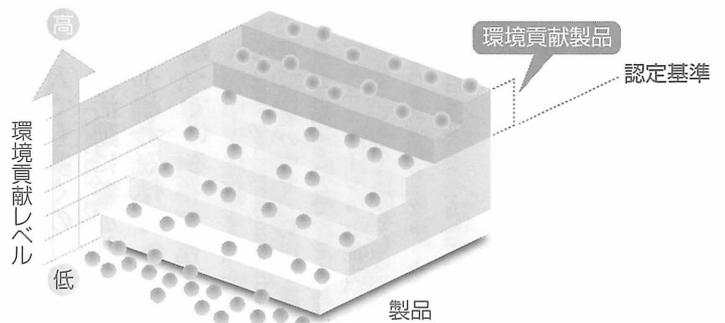


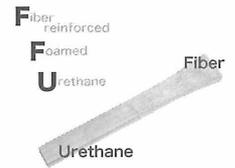
図2 当社の環境貢献製品の概念

末で四四・五%に達し、二〇一六年度には五〇%以上を目指している。

製品例としては、軽量耐食構造材（エスロンネオランバーFFU）の活用による「施設・建物の長寿命化」や、「廃棄物（石炭灰・フライアッシュ）を原料として再利用」したウッドデッキ（アシエラウッド・エコマーク認定製品）、太陽光発電システム搭載住宅や自動車用遮熱・遮音中間膜などの「CO<sub>2</sub>発生を低減」する製品、などである。

特に、耐食性に優れた人工木系

## ネオランバーFFU



製品(図3)は、従来、天然木材のみが使用され、腐朽・腐食によるメンテナンスや安全面での問題が指摘されて



リサイクル建材 アシェラウッド  
火力発電所から発生する石炭灰(フライアッシュ)と一般家庭から発生するレジ袋やプラスチック容器など未利用資源をリサイクルして使用しています。表面に高耐候木粉充填樹脂を使用し、木の質感、感触を再現。ウッドデッキなどに使用します。

図3 廃棄物・LCC削減に貢献する人工木系製品(FFU・アシェラ)



図4 歩廊でのFFU試験採用事例(尾瀬ヶ原の湿原)

### ②環境負荷の低減

気候変動への対応や資源の有効活用を目的として、温室効果ガス排出、エネルギー使用および廃棄物の削減にさまざまな取り組みを行っている。国内生産時における温室効果ガス排出の削減では、設備投資を促す環境投資促進策制度や生産改善によりエネルギーコストを削減するためのECCO-JIT活動を実施し、二〇〇七年度からの六年間で約五万トン $\text{CO}_2$ 、二〇〇七年度比で二一・六%の温室効果ガスを削減した。

### ③自然環境の保全

積水化学グループでは、一九九七年度から自然保護活動などの環

境貢献活動を行ってきたが、近年、事業所が保有する緑地に生物の生息空間や地域生態系ネットワークの形成としての役割が期待されると考え、「いきもの共生事業所<sup>®</sup>ガイドライン」(一般社団法人企業と生物多様性イニシアティブが作成)を参考に、新たに事業所内の緑地の質向上に取り組んでいる。図5は、千葉積水工業株式会社が取り組んでいる「潤いの森」プロジェクトである。本プロジェクトでは、「人と生き物を育む森づくり」を目的とし、全社員で森の再生活動を行っている。その結果、キンランやギンランなどの貴重種を含め里山で見ることができ、生態系が復活しつつある。



図5 「潤いの森」の様子

## 四、最後に

現在、地球温暖化、資源の枯渇

や生物の絶滅など地球規模で環境の劣化が進行している。これらの原因は、明らかに人間の活動にあり、これらを解決することは我々一人ひとりの課題である。積水化学グループは、社員一人ひとりが環境について考え、一人ひとりが環境活動推進力の高い人材になり、一人ひとりが環境問題に取り組んで行くことで、事業活動の基盤である「生物多様性が保全された地球」を実現したいと考えている。

**能勢 泰祐**のせ たいすけ  
担当課長。博士(工学)。二級バイオトープ施工管理士。現在、主に生物多様性保全の企画・運営を担当。

**石島 勇治**いしじま ゆうじ  
担当部長。二級建築士。現在、土木・景観分野の耐食材料に関する事業企画・運営を担当。

**〈会社概要〉**  
建築や公共分野などで安全・快適なライフラインや水環境づくりに貢献する環境・ライフラインカンパニー、エレクトロニクスや車両・輸送分野などに高機能材料を提供する高機能プラスチックカンパニー、住宅やリフォーム分野などで安心・快適な住まいを提供する住宅カンパニーよりなる。